

令和6年度(2024年度)



家庭教育学級の手引

つくば市教育局生涯学習推進課

目 次

1	はじめに.....	1
2	家庭教育学級の1年の流れ.....	2
3	年間学習計画の立案.....	4
	(1) 家庭教育学級の役職を決める.....	4
	(2) 学びのテーマを決める.....	4
	(3) 学習計画の立案.....	4
	(4) 講座形式を決める.....	5
	(5) つくば市による家庭教育学級への助成.....	6
4	家庭教育学級の運営.....	7
	(1) 設立計画書の作成・提出.....	7
	(2) 閉級報告書の作成・提出.....	8
5	その他.....	9
6	よくある御質問.....	10

1 はじめに

「家庭教育」は、すべての教育の出発点です。家庭教育は、子どもの健全な身体と人格の発達のために、親またはそれに準ずる大人が、子どもに対して家庭で行う教育を言います。

「家庭教育学級」は、家庭教育を行う保護者自身が、家庭教育について理解を深める学びの場の一つとして実施されるものです。昭和30年代から家庭教育の関心が高まり、昭和39年度から文部省（現文部科学省）が成人教育の一環として全国の市町村に対して補助を開始したことから家庭教育の振興がはじまりました*1。

家庭教育学級では、親などが自ら企画し、一定期間にわたって計画的・継続的に家庭教育に関する学習を行います。子育ての悩みや、不安などについて参加者とともに意見を交わしたり、知識を得たりしながら、家庭教育のあり方を学び、親として自らを振り返る大切な時間となります。

つくば市では、市立幼稚園、小中学校、義務教育学校において、家庭教育学級が開催されています。

つくば市社会教育指導員は、自主的に活動する各家庭教育学級に対して、充実した学びとなるよう、学級生の皆様に寄り添いながら学級運営のお手伝いをしています。

*1 文部科学省 HP「我が国の文教施策」「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」
配布資料

2 家庭教育学級の1年の流れ

家庭教育学級は、次の①から④のスケジュールで行われます。

- ① 年間学習計画の立案
- ② 設立計画書（様式第1号）の作成・提出
- ③ 講座の実施
- ④ 閉級報告書（様式第3号）の作成・提出

資料の一覧

様式第1号 設立計画書

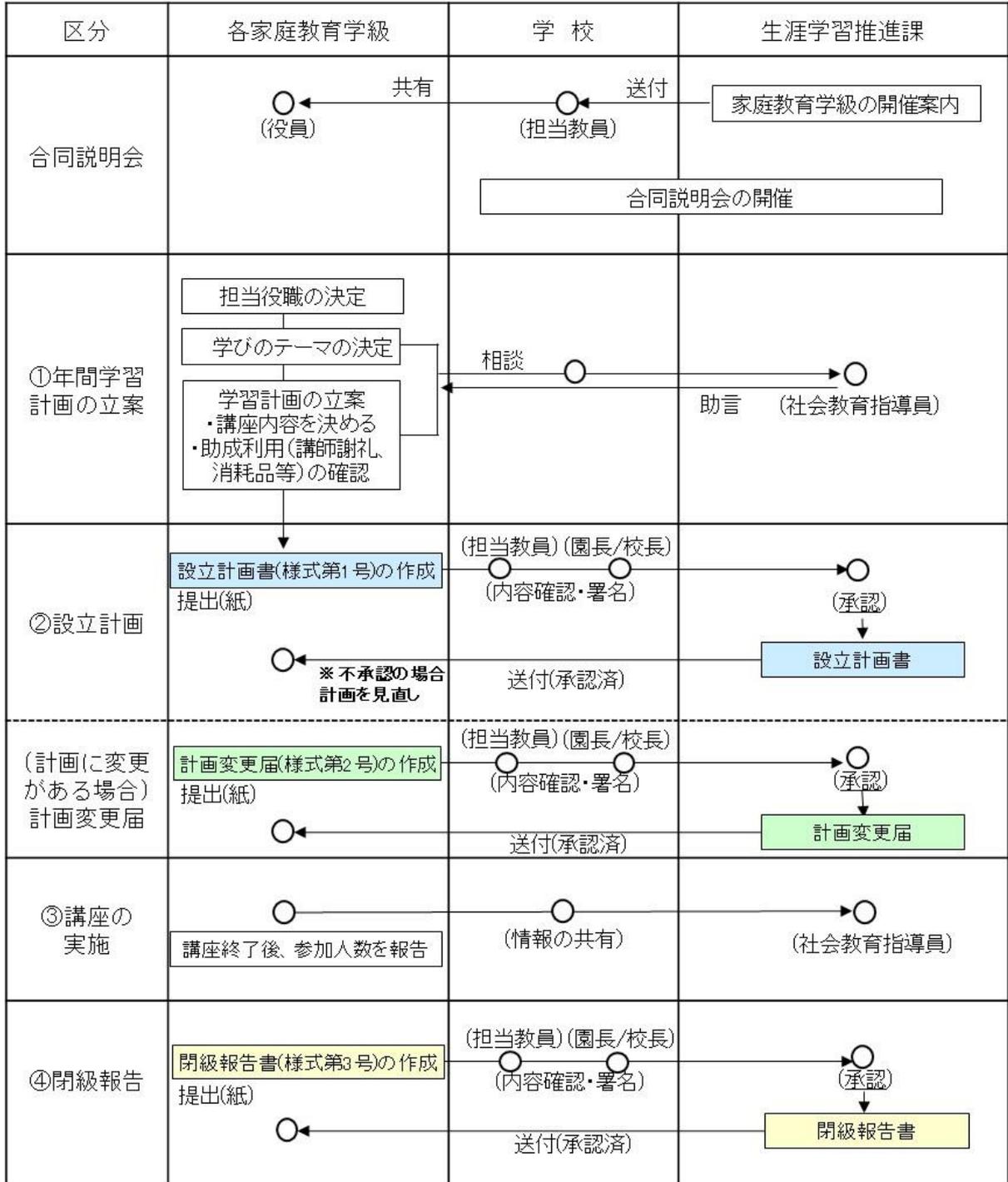
様式第2号 計画変更届

様式第3号 閉級報告書

別紙1 つくば市家庭教育学級等の設立に関する承認基準

別紙2 講師選出理由書

家庭教育学級の1年の流れ



3 年間学習計画の立案

(1) 家庭教育学級の役職を決める

家庭教育学級に参加する学級生の中から、学級運営の中心となる役員を選出します。役員の中から、役職を決めておくこと今後の学級運営を円滑に進められます。

各学級の実施形態に合わせて役職や役割を決めていきましょう。

[参考例]

役 職	役 割	役 職	役 割
学級長	学級運営の代表	会計	学級に関わる会計
副学級長	学級長の補佐	書記	各種書類の作成及び記録

(2) 学びのテーマを決める

家庭教育学級での学びのテーマを決めます。家庭教育学級は、子どもたちへの家庭教育に資する学びを行うために実施されます。家庭教育学級で学んだことを子どもたちの健全な育成に役立てるという視点でテーマを決めると良いでしょう。

(3) 学習計画の立案

学びのテーマに沿って、学習のねらいを明確にして講座を決めていきます。

学習計画を立案する際は、幼稚園・学校の先生と十分に相談をして決定しましよ

う。

つくば市教育大綱（令和2年3月策定）では、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を最上位目標に掲げており、（1）「教え」から「学び」へ（2）「管理」から「自己決定」へ（3）「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へという3つの柱をもとに、家庭教育についての理解を深め、より良い社会をつくるための力を育てることを目指して、下の「学びの柱」を設けています。

学びの柱	
① 子どもの成長に伴う関わり方	
② 家庭でのメディアリテラシー	
③ 身近な人権と多様性	保健、食育、睡眠、運動、防災、救急救命等
④ 安全な暮らしと健康な体づくり	
⑤ つくば再発見を通して育む感性	つくばの文化、芸術、歴史、自然、科学技術等

講座を決める際には、これらの柱をバランスよく取り入れましょう。

また、「つくば市家庭教育学級等の設立に関する承認基準」（※別紙1）に合った講座になっているか確認してください。基準に合わない講座が含まれている場合、学級の設立が認められませんので御注意ください。

(4) 講座形式を決める

各回の講座形式は、目的や学級生の要望などに応じて決めましょう。以下はこ

れまでに開催されてきた家庭教育学級の講座形式の例です。

(ア) 外部講師を招く場合

「学びの柱」に沿った内容となるような外部講師を招いて講座を開催する。

(イ) 幼稚園、学校の先生方を囲んでお話を伺う場合

園や学校での子どもたちの生活について、保護者と教員の双方で見守れるように、相互理解を深める場とする。

(ウ) 社会教育指導員を活用して意見交換の場をつくる場合

社会教育指導員をファシリテーター（進行役）とし、保護者が抱える不安や疑問をテーマとして取り上げ、相互間で話し合うことで改善・解決につながるよう、意見交換会を開催する。

(5) つくば市による家庭教育学級への助成

家庭教育学級の運営に当たり、つくば市から次のような助成を受けることができます。

(ア) 外部講師を依頼する場合

つくば市の謝礼基準に応じた金額となりますので、**講師との調整を行う前に社会教育指導員に御相談ください。**なお、講師謝礼については支払い元を2つ以上に分けることはできませんので、御注意ください。

(イ) 保育ボランティアを利用する場合

当課で登録している保育ボランティアを利用することができます。事前に
社会教育指導員に御相談ください。

(ウ) 消耗品(文房具等)を購入する場合

消耗品費…年間計 2,750 円(税込)以内

購入希望の商品をリストにし、社会教育指導員に確認の上、幼稚園や学校
の取扱店で購入してください。必ず購入前に社会教育指導員に御相談くださ
い。

請求書の宛名は「つくば市教育局生涯学習推進課」としてください。購
入後は、社会教育指導員に連絡の上、つくば市会計規則に基づき処理する必
要がありますので 7日以内に請求書を提出してください。

コピー用紙は、無料でお渡しすることができます。事前に必要な冊数を社
会教育指導員に御連絡ください。つくば市役所 4 階生涯学習推進課でお渡し
します。

4 家庭教育学級の運営

(1) 設立計画書の作成・提出

年間学習計画が立案できましたら、**設立計画書**(※様式第 1 号)に記入し、幼稚園・
学校の家庭教育学級担当の先生及び幼稚園長・学校長の確認を受け、**署名**をいただ

いたものを生涯学習推進課に**紙面**で提出してください。外部講師を招く場合は、**講師選出理由書**(※別紙2)に、講師のプロフィール、講師選出理由等を記載して提出してください。

提出された設立計画書については、「つくば市家庭教育学級等の設立に関する承認基準」を満たしているか確認します。不承認の場合は、学習計画を見直し、再度設立計画書を提出してください。

なお、設立計画書には役員の連絡先について全員分記載しなくても構いませんが、必ず主となる役員の方には連絡がつくようにお願いします。

設立計画書が承認された後に、学習計画に変更が生じた場合には**計画変更届**(※様式第2号)の提出が必要となります。設立計画書と同様に、家庭教育学級担当の先生及び幼稚園長・学校長の確認を受け、署名をいただいたものを生涯学習推進課に紙面で提出してください。変更が承認され次第、変更後の講座を実施することができます。

(2) 閉級報告書の作成・提出

全ての講座が終了後、**閉級報告書**(※様式第3号)を幼稚園・学校の家庭教育学級担当の先生及び幼稚園長・学校長の確認を受け、**署名**をいただいたものを生涯学習推進課に**紙面**で提出してください。

5 その他

以下の場合、社会教育指導員へ御相談ください。

- 外国人の方が受講の際に通訳を必要とする場合
- 託児を依頼する場合
- 手話通訳を希望される場合

なお、「家庭教育学級の手引」及び家庭教育学級関連書類は、つくば市のホームページからダウンロードすることができます。必要に応じて御利用ください。

6 よくある御質問

Q1. 学校で開催される他の行事等との共催は可能か。

A1. 基本的には可能です。ただし、講師への謝礼が発生する場合には注意が必要です。講師との調整前に御相談ください。

Q2. 講座回数は何回でもよいのか。

A2. 開催回数の制限はありません。各学級の予算内で各園・学校の実情に応じて計画してください。

Q3. 学級費はかかるのか。

A3. 市では学級費については定めていません。各学級で判断をお願いします。PTA会費等から家庭教育学級への費用を支出している園や学校もありますので、PTA またはそれに準ずる組織にお尋ねください。

問合せ先
つくば市教育局生涯学習推進課
社会教育係
電話 029-883-1111(代)内線4513
e-mail edc073@city.tsukuba.lg.jp

つくば市家庭教育学級設立計画書

1 学級の基本情報

学校名	
対象学年	
学級の人数	

2 役員

役職	氏名	連絡先
		- -
		- -
		- -
		- -

3 学びのテーマ

4 学習・費用計画

実施予定日	講座名	講師名	講師謝礼(円)
1	月 日	(肩書き)	
	学びの柱	(講師名)	
2	月 日	(肩書き)	
	学びの柱	(講師名)	
3	月 日	(肩書き)	
	学びの柱	(講師名)	
4	月 日	(肩書き)	
	学びの柱	(講師名)	
5	月 日	(肩書き)	
	学びの柱	(講師名)	
学びの5つの柱		市 支 援 額	小 計
1 子どもの成長に伴う関わり方			消 耗 品 費 合 計 (円) ②
2 家庭でのメディアリテラシー			
3 身近な人権と多様性			
4 安全な暮らしと健康な体づくり			
5 つくば再発見を通して育む感性		合 計 (①+②)	

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄

学級設立承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市家庭教育学級設立計画書

1 学級の基本情報

学校名	〇〇小学校
対象学年	1 学年
学級の人数	100人

2 役員

役職	氏名	連絡先
学級長	筑波 太郎	080 - 1234 - 5678
副学級長	〇〇 〇〇	029 - XXXX - XXXX
会計	〇〇 〇〇	080 - XXXX - XXXX
書記	〇〇 〇〇	029 - XXXX - XXXX

3 学びのテーマ

子どもたちが幸せな人生を送るために今できることを学んでみよう

4 学習・費用計画

実施予定日	講座名	講師名	講師謝礼(円)
1 7月1日	開級式 子育てトーク	(肩書き) 社会教育指導員	0
	学びの柱 ① 2 3 4 5 (講師名) 〇〇 〇〇	(講師名) 〇〇 〇〇	
2 10月1日	SNSを安全に楽しむために	(肩書き) 〇〇大学	10,000
	学びの柱 1 ② 3 4 5 (講師名) 〇〇 〇〇	(講師名) 〇〇 〇〇	
3 12月1日	人権と多様性	(肩書き) NPO法人 〇〇	0
	学びの柱 1 2 ③ 4 5 (講師名) 〇〇 〇〇 ※PTA人権講演会と共催	(講師名) 〇〇 〇〇	
4 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5 (講師名)	(講師名)	
5 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5 (講師名)	(講師名)	
学びの5つの柱 1 子どもの成長に伴う関わり方 2 家庭でのメディアリテラシー 3 身近な人権と多様性 4 安全な暮らしと健康な体づくり 5 つくば再発見を通して育む感性		市 支 援 額	小 計 ① 10,000
			消耗品費合計(円) ② 2,750
			合 計 (①+②) 12,750

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校校長 署名欄

学級設立承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市教育委員会教育長 宛て

つくば市家庭教育学級計画変更届

変更のあった回のみ記入

1 学級の基本情報

学校名	
-----	--

2 変更内容（該当する数字に○）

1	開催日時の変更（中止又は追加を含む。）
2	講師に関する事の変更（講師、肩書、謝礼等）
3	その他（ ）

3 学びのテーマ

--

4 学習・費用計画

実施予定日	講座名	講師名	講師謝礼(円)
1 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)	
2 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)	
3 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)	
4 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)	
5 月 日		(肩書き)	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)	
学びの5つの柱		市 支 援 額	小 計
1 子どもの成長に伴う関わり方			消費品費合計(円)②
2 家庭でのメディアリテラシー			合 計 (①+②)
3 身近な人権と多様性			
4 安全な暮らしと健康な体づくり			
5 つくば再発見を通して育む感性			

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄

学級計画変更承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市教育委員会教育長 宛て

つくば市家庭教育学級閉級報告書

1 学級の基本情報

学校名	
-----	--

2 学習・費用計画

実施予定日	講座名	講師名	講師謝礼(円)	参加人数
1	月 日 学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き)		
		(講師名)		
2	月 日 学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き)		
		(講師名)		
3	月 日 学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き)		
		(講師名)		
4	月 日 学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き)		
		(講師名)		
5	月 日 学びの柱 1 2 3 4 5	(肩書き)		
		(講師名)		
学びの柱		市支援額	小計	累計参加人数
1 子どもの成長に伴う関わり方			消耗品費合計(円)②	
2 家庭でのメディアリテラシー				
3 身近な人権と多様性				
4 安全な暮らしと健康な体づくり			合計(①+②)	
5 つくば再発見を通して育む感性				

感想(全体を通しての感想を書いてください。)

担当指導員コメント欄 担当指導員 :

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校校長 署名欄

学級閉級承認日
年 月 日

※押印は不要です。

つくば市教育委員会教育長 宛て

つくば市家庭教育学級閉級報告書

1 学級の基本情報

学校名	〇〇小学校
-----	-------

2 学習・費用計画

実施予定日	講座名	講師名	講師謝礼(円)	参加人数	
1 7月1日	開級式 子育てトーク	(肩書き) 社会教育指導員	0	30	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名) 〇〇 〇〇			
2 10月1日	SNSを安全に楽しむために	(肩書き) 〇〇大学	10,000	50	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名) 〇〇 〇〇			
3 12月1日	人権と多様性	(肩書き) NPO法人 〇〇	0	50	
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名) 〇〇 〇〇 ※PTA人権講演会と共催			
4 月 日		(肩書き)			
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)			
5 月 日		(肩書き)			
	学びの柱 1 2 3 4 5	(講師名)			
学びの柱		市支援額	小計	10,000	累計参加人数 130
1 子どもの成長に伴う関わり方			消耗品費合計(円)②	2,750	
2 家庭でのメディアリテラシー			合計(①+②)	12,750	
3 身近な人権と多様性					
4 安全な暮らしと健康な体づくり					
5 つくば再発見を通して育む感性					

感想(全体を通しての感想を書いてください。)

家庭教育学級の運営は不安だったが、参加した保護者から「役立った」と感想をもらってうれしく思った。〇〇な点がよかった。〇〇な点をもっと〇〇だったらよかった。

担当指導員コメント欄 担当指導員：

※提出時に担当指導員が記入します。

家庭教育学級担当教員 署名欄	幼稚園長・小・中・義務教育学校長 署名欄

学級閉級承認日
年 月 日

※押印は不要です。

別紙 1

つくば市家庭教育学級等の設立に関する承認基準

家庭教育学級等（以下「学級」という。）の設立については、学級が次に掲げる要件を全て満たすと教育委員会が認めたものについて、承認するものとする。

- (1) 教育委員会の教育目標、教育方針及び施策に基本的に合致するものであること。
- (2) 家庭教育の向上普及に寄与するものであることが明らかであり、かつ、公益性のあるものであること。

なお、承認基準を満たすものであっても次に掲げるもののうちいずれかに該当する学級は承認しないものとする。

- (1) 営利を目的とするもの
- (2) 政治活動・宗教活動等にかかわりがあるもの
- (3) 特定の団体等による勧誘・普及を目的とするもの
- (4) 公序良俗に反するもの又はそのおそれのあるもの
- (5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団の利益になり、又はそのおそれがあるもの
- (6) 法第2条第6号に規定する暴力団又はつくば市暴力団排除条例（平成23年条例第29号）第2条第3号に規定する暴力団員等であると認められる者が主催者の役員、従業員、社員その他の構成員であるもの
- (7) 教育委員会の名誉をき損し、又は信用を失墜するおそれがあるもの
- (8) 前各号に掲げるもののほか、その目的及び内容等に鑑み教育長が適当でない
と認めるもの

講師選出理由書

記入例

※外部講師を依頼する場合は、設立計画書と併せて提出してください。

学級名【 ○○小学校 】

講師名	(肩書き) ○○大学 教授
	○○ ○○ 氏
講座名	SNS を安全に楽しむために
講師プロフィール ※講師のホームページ等の 写しでも可。	SNS の使い方について、小中高生を対象にした研究を行っている。 危険性と家庭でのルールづくりのコツを子どもの心理的な発達と 併せて講演する活動を全国各地でしている。○○年より○○大学教 授。
学びの柱	1 2 3 4 5
講師選出理由及び学びの ポイント	<p>スマホの所有が低年齢化するなかで、いつからスマホを持たせて、 どのようにルールを決めていけばよいか悩む保護者が多いです。 ○○氏は、研究データに基づいた家庭でのルールづくりと危険性につ いて話していただけるとのことなので、他の講師よりも説得力が あると思います、選出しました。</p> <p>子どもたちがトラブルに巻き込まれないためにも、まずは保護者が 理解を深めていきたいと思えます。</p>

学びの柱
1 子どもの成長に伴う関わり方
2 家庭でのメディアリテラシー
3 身近な人権と多様性
4 安全な暮らしと健康な体づくり
5 つくば再発見を通して育む感性